

環境重視のオイル販売

15万キロまで交換不要

石油類含まず
劣化しにくい
リサイクルも可能

安藤自動車サービスと スリーエス事業協組

自動車整備の安藤自動車サービス(本社名古屋市中区入場三ノ二〇五、電話0522・3301100)とスリーエス事業協組(事務局新潟市新潟町朝野新田四九、同0567・662011)は提携して、高性能100%化学合成オイル「エコマーベラス」の拡販に乗り出す。石油類が一切含まれず、分子構造が安定しているパラフィン系を主成分とすることで、劣化が進まず、十五万キロ走行までオイルとフィルター交換不要というの特長。オイル交換による無駄期間をなくし、オイル代を低減する。トラック、乗用車などのほか、船舶、発電機などあらゆる種類のエンジンで利用が可能。同協組では、今年の売り上げ目標を二億四千万としている。

通常のオイルは石油系のため、エンジン内部の温度上昇によってオイル自体が燃焼。これが、オイルの汚れとなる。一方、エコマーベラスは組成が化しにくいパラフィン系を主体としており、温度上昇しても燃焼せず、汚

オイルは、化学合成オイルのトップメーカー、米・セーベラスが生産。オオト(東京)が日本国内の総代理店。同協組は中部地区代理店。拡販のため、整備拠点の安藤自動車サービスと提携した。



中部での拡販に乗り出すエコマーベラス

※ 劣オイルが出ないこと、P1保険に加入してや、エコマーベラス自体は、定価は二万円より六千

がリサイクル可能な商品であるため環境負荷も低減。また、燃費が交換に伴って車両を休ませることもなくなる。アメリカ石油協会(API)の最優規格を取得しているのは、横まで拡大したい考え。

4面
スリーエス事業協組が
環境重視のオイル販売